

2022年10月1日

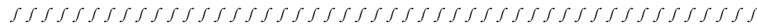
会員の皆さまへ

SDルネッサンスに向けて ～ 会費改定にご理解・ご協力を ～

会長 沖吉 和祐

6月開催の総会で「2023年度からの会費改定」をご承認いただき、来年度から会費を引き上げさせていただきますことになりました。

これまで、S協ニュース 3月号と5月号で、S協の財政状況についてご説明しましたが、あらためて会費で運営されているS協の活動の様子、会費値上げの背景、値上げ後の見通し、今後のSD普及活動への取り組みなどをご紹介します。



【S協は地道に活動しています】

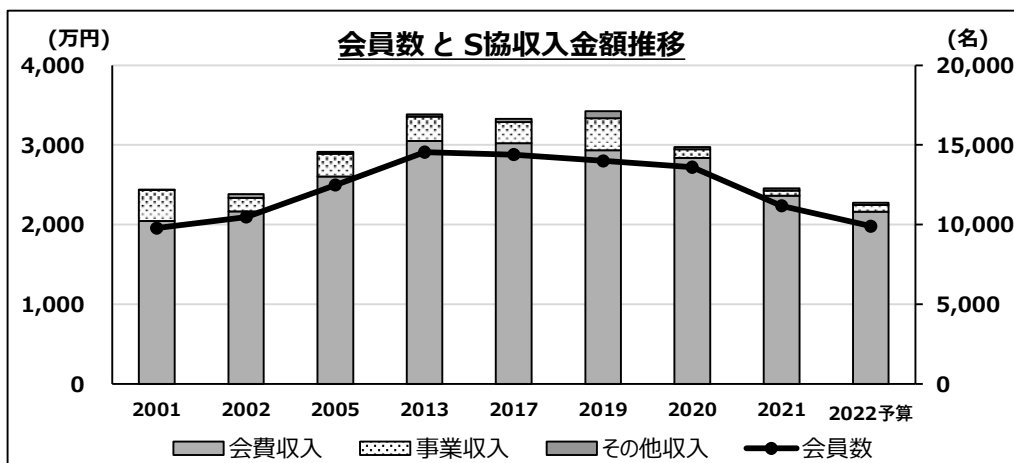
S協は、SDを通じて健康で充実した生活を送っていただけるよう、会員の皆様が自由に集まり、交流できるプラットフォームとして、S協ニュースやホームページで各地の活動の様子を紹介したり、全日本SDコンベンションで会員同士あるいは地域との交流を深めるとともに、各クラブで楽しい例会やパーティーが開けるよう全国のリーダーやコーラー・キュアー等の活動を支援してきました。

コロナ禍の下でも、コロナが落ち着いたのちに会員の皆さんがSDを心置きなく踊り、SDの輪を広げる活動ができるよう様々な努力をしています。S協の活動を支える20を超える委員会や7つの統括支部では、Webやメールを活用して、これからのSD活動の再開に向け準備を進めています。S協事務局は、こうした活動をサポートするとともに、会員やライセンス保持者のデータベースを管理したり、会員の皆様からの問い合わせにお応えするなど、日々サービス向上に努めています。

こうしたなかで最も大切にしているのが、最初にお示したS協ニュース、ホームページなど広報を通じた会員との繋がりで、コロナ禍においても会員の皆様が安全にそして安心して活動いただくための情報、感染症への対応策、例会やパーティーの再開にあたっての指針など多くの情報を発信してきました。

【S協の会員数と収入の移り変わり】

このように、コロナ禍の異常時という状況でもS協は普段以上に地道に、将来に向けた活動を続けていますが、この活動を支えているのが皆様から頂いている会費です。S協の財源には、会費収入、事業収入、その他収入がありますが、会費収入が収入全体の90%以上を占めています。新型コロナウイルスの影響で、会員数の減少がS協収入にとっても大きな影響を与えています。事業収入（各種資料の頒布、S協ニュースへのパーティー広告の掲載、コンベンションの開催、ライセンスの認定などの事業に伴う収入）も、年間300～400万円ありましたが、各クラブのアニバーサリーパーティーやコンベンションが開催されなかったため半減し、2020年度からは年間100万円程度になりました。

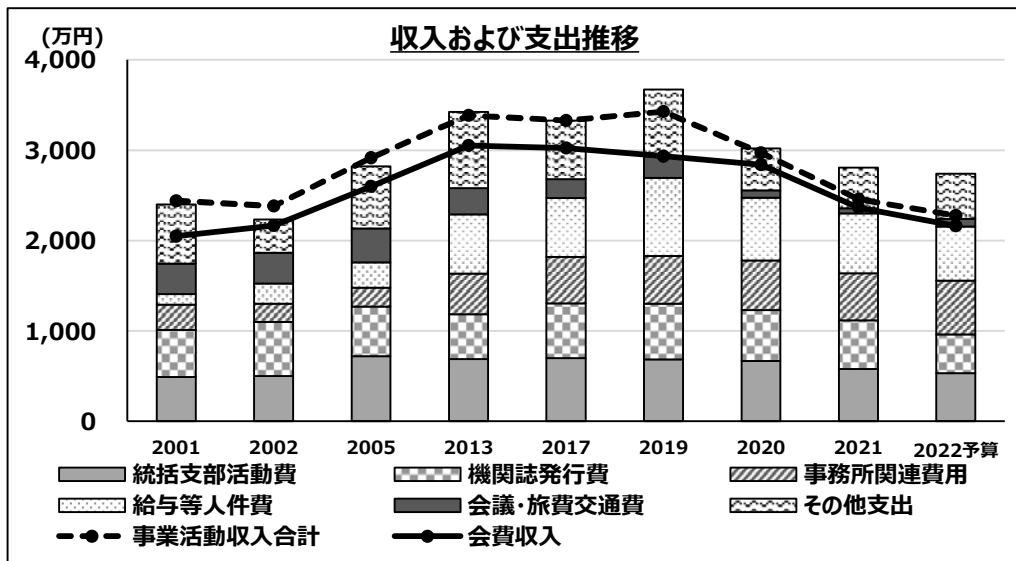


【収入と支出の移り変わり】

全国各地における熱心な普及活動により会員数が増加し、会費収入も増加してきましたが、一方で普及を担う委員会活動の活発化、機関誌の充実や事務局の整備など、会員サービスの向上を進めたことにより、支出も収入と同じように伸びてきました。

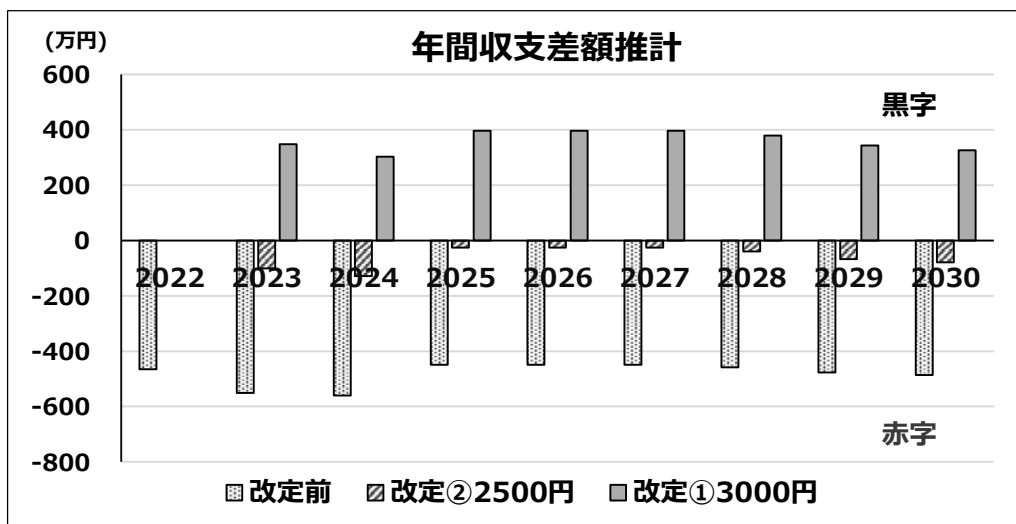
コロナ禍の2020年度以降、下のグラフのように会費収入・事業収入が急激に減少しています。支出については、統括支部活動費・機関誌発行費は会員数の減少にあわせて少なくなり、会議費・旅費交通費はオンライン会議の実施により減少しました。しかし、事務所関連費用については、事務所を移転することにより賃貸料をおよそ40%縮減しましたが、機器リース料、保守料などは急な大幅減額とはならず、また、事務局員給与（事務作業量）の大幅な減少は会員サービスの低下を招きかねず難しくなっています。いろいろと努力しましたが、支出全体を大きく削減できず、赤字幅が増える状況となりました。

事務所移転（広さがおよそ半分）による事務所賃貸料約40%の節減は、年間約150万円となります。



【これからの収支の見通し】

今回の会費改定ではクラブに所属する普通会員（筆頭者）の会費を2,000円から1,000円アップの3,000円とお願いしました。S協の厳しい財政状況の見通しについてはS協ニュース3月号と5月号でご説明させていただきましたが、500円アップの2,500円では支出削減に努めても、会員数の回復が見込まれない状況では収支改善は難しく、年度収支は引き続き赤字発生が見込まれます。



今年度（2022年度）は約460万円の赤字予算になりましたが、今回の会費改定で来年度から会費収入が増加し、引き続き経費縮減を続けることにより来年度（2023年度）は約300万円の黒字となる見通しです。その後はある程度の会員数の減少を見込んで、会費を3,000円とした場合は先ほどの図のように黒字が続き、財政基盤も安定し、会員サービス向上に必要な経費の拡充も可能になるでしょう。

【会費の値上げにご理解を】

会員数は、2012年度には1万5千名近くにまで迫りました。その後、各クラブや統括支部で、体験会・初心者講習会を積極的に進めていただき新たな愛好者・会員を増やすことができましたが、高齢化の影響でやむをえず退会や休会される方も多く、会員数の横ばい・減少傾向が続きました。そして、2020年からは新型コロナ感染症の影響で2年以上体験会や初心者講習会の開催が困難な状況となり新たな愛好者を増やすこともできず、一方、例会やパーティーが行えない影響によって退会される方も増え、その結果、会員数は大幅に減少し、今年度期初では1万人を切るという厳しい状況になってしまいました。

これまでご説明させていただいたように、高齢化の進展に新型コロナ感染症の影響が加わり、会員数の大幅減少が会費収入の大幅減となりました。2022年度は、緊急対策としてS協ニュースの発行回数削減という苦渋の決断も含め、事業計画を必要最小限に絞り込み様々な支出削減に努めました。しかし、残念ながら赤字予算を組み、不足分をS協基本財産の取崩しで充当する予算となりました。さらなる運営の効率化や経費の削減に努めるとともに、ウィズコロナでの活動再開やポストコロナにおける本格的な普及活動に向けて万全の準備をして、コロナ収束後の新たな愛好者の獲得、会員の増に繋げていきたいと考えています。

今回の会費改定で会員の皆様にはご負担をおかけすることになりますが、会員の皆さんがいつまでもSDを楽しく踊れるように、皆様とともに積極的な活動を続けていきます。S協の非常に厳しい財政状況についてご理解いただくとともに、S協活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

【協力し支えあうSDの魅力】

今回のコロナ禍により、生活の一部となっていたSDを踊れないことによる寂しさや虚しさを感じる一方、SDの楽しさや、SDを通じてのひととの繋がりの大切さに気付かれた方も多いと思います。SDは、音楽に合わせて歩くことを基本に、ダンサーとコーラー、キューアが共鳴しあって踊ることにより、楽しさと爽快感を共有できるスポーツです。競い合うのではなく、みんなが協力し支え合うことにより、踊った後の達成感と連帯感を味わうことができます。多くのメリットをもつSDを広めていくことは、S協の使命であり、会員の皆様の生きがい、やりがい、そして誇りにつながるものだと思います。

【S協はこんなことをしてきました】

私たち日本のSD界は、ベーシック、メインストリームを基本にしつつ、先ずSDの裾野を広げることを重視してきました。S協はさまざまな講習会・研修会を開催してリーダー・コーラー・キューアなどの数多くの指導者の育成を目指し、その結果、多くのクラブの誕生・新しい愛好者の増加につながりました。また、ダンスプログラム定義書やラウンドダンス解説書（それぞれ英語版）など各種資料を翻訳し普及活動に使用するなど、ダンス技術のレベルアップに努めてきました。踊るうえで不可欠な音楽についても、安心して音源が利用できるよう取り組んできました。このようなS協の長年にわたる地道な活動によって、いま私たちが楽しくSDを踊ることができる環境が整えられてきました。

【ポストコロナの活動】 ～ SDルネッサンス～

コロナ禍は、SD界に甚大な影響を与えましたが、SDの楽しさ・大切さ・各自のSDへの気持ちなどを再認識するチャンスになりました。また、コロナへの対応から生まれたリモート機能の活用を広げるなど、SDの普及に新しい可能性が生まれました。

今年度から3年間の「S協 第4次中期行動計画」重要施策では、

- ・ コロナ感染症が落ち着いた後の普及活動、高齢化に対応した諸施策の検討
- ・ 将来に向けての、次世代指導者の育成に向けての検討

が財政状況を十分に考慮し取り組むことが挙げられており、

- ・ 会員定着の活動・普及活動の推進・SD活動を支える人材の育成

を重点課題としています。

普及活動や例会活動に向けては、すでに「初心者講習会開催実施にあたっての手引き」や「スクエアダンスをいつまでも楽しむための工夫」が準備されています。これらの小冊子も参考に、会員皆さんのアイデアで新しいスクエアダンス愛好者を増やしたり、いつまでもスクエアダンスを踊ることができる工夫を考えていただきたいと思います。

全国のクラブの例会が再開し始めました。来年9月には、コンベンションが4年ぶりに開催予定です。再びSDの輪ができ、ダンスの輪を広げる時が来ます。

ポストコロナにおけるSD界の発展には、中期行動計画のスローガンでもある「体験者10万人」を目指し、SDの理解者増（攻めの広報）、体験者増（体験会の全国展開）、愛好者増（全クラブで初心者講習会）が不可欠です。この役割をS協会員みんなで担おうではありませんか。会員の皆様の“誇り”と“繋がり（連帯）”をもって、SDを続けて参りましょう。そうすれば、**Square Dance Renaissance（スクエアダンスの復活）**が進み、会員ひとり一人の楽しさ、幸せに返ってくるでしょう。

※ Square Dance Renaissance（スクエアダンスの復活）

- ☆ “Remember Square Dance”（スクエアダンスを忘れないで）
- ☆ “Reunion Square Dancer”（スクエアダンサーの再会を）

以上